科目基		専門学校	開講年度 令和04年度 (2	2022年度) / 2	受業科目	国語総合				
	礎情報			T	_					
科目番号		R04E20	1	科目区分		一般 / 必修				
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修単位:	2				
開設学科	 	電気電子	-工学科	対象学年	2					
開設期	W L 1 1	通年 三角洋一		週時間数 『の継続) ∕ 課題ノート	2 『学習課題 <i>J</i>					
教科書/ 教		カラー国	語便覧』(大修館書店,継続使用)	<u> </u>						
担当教員 到達日		山下 航江	<u>E</u>							
(1) 現代 (2) 古文 (3) 文章 (4) 常用	文(評論・随 ・漢文の読 の内容や箇所 漢字(書き取	折の問いに対	親しみ,読解や鑑賞の基礎・応用を身 応用力を身につける.(提出課題・定其 して的確に文章にまとめる作文力や発 ・慣用句・四字熟語等の基礎的語彙力	表力を身につける. (提出	出課題・定期	試験)				
ルーノ	リック		理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの	日安/白)	土到達しベルの日空(不可)				
評価項目	11		現代文(評論文・随筆・小説)に親しみ、読解や鑑賞の基礎力・応用力を十分身につけている。	現代文(評論文・随筆・ しみ, 読解や鑑賞の基力を身につけている.		未到達レベルの目安(不可) 現代文(評論文・随筆・小説)に親 しみ,読解や鑑賞の基礎力・応用 力を身につけていない.				
平価項目	12		古文・漢文の読解の基礎力・応用 力を十分身につけている.	古文・漢文の読解の基 力を身につけている.	礎力・応用	古文・漢文の読解の基礎力・応用力を身につけていない.				
評価項目 3			文章の内容や箇所についての問い に対して的確に文章にまとめる作 文力や表現力を十分身につけてい る.	文章の内容や箇所につ に対して的確に文章に 文力や表現力を身につ	まとめる作	文章の内容や箇所についての問い に対して的確に文章にまとめる作 文力や表現力を身につけていない				
评価項目	14		常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語等の基礎的語彙力を十分身につけている.	常用漢字(書き取り読み 用句・四字熟語等の基 を身につけている.		常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語等の基礎的語彙力を身につけていない.				
学科の	到達目標工	頁目との関	係							
	7育目標 (C1)								
教育方:	法等									
既要		また, ・漢字問 〔科目情	:(評論文・随想・小説)及び古文・漢文 表現力の向上に向けて,作文や発表を 題集を試験範囲とした「漢字テスト」 報〕 国語総合(1 年),現代文(3 年)	行う						
授業の進	め方・方法	〔事前学 次の授業	講義を中心に学習するが,可能であれ 習〕 で扱う教科書本文を必ず読んでおく <i>こ</i>		形式の授業を	5検討・実施する.				
	め方・方法	〔事前学 次の優別 で に 課題で に 課業 で に は り に り に り り で り で り で り り で り り り り し り し り し り	講義を中心に学習するが, 可能であれ 習〕	と. を評価して,課題点(30 こともあるので必ず保管	点満点)とする しておくこと	3. 2.				
注意点	め方・方法	〔事前学 次の優別 で に 課題で に 課業 で に は り に り に り り で り で り で り り で り り り り し り し り し り	講義を中心に学習するが,可能であれ習] で扱う教科書本文を必ず読んでおくこの注意〕 出,課題ノートの提出,漢字テスト等いたブリントは,試験の範囲に入れるの注意〕	と. を評価して,課題点(30 こともあるので必ず保管	点満点)とする しておくこと	3. 2.				
注意点 評価 (総合: 評価 の が の の の の の の の の の の の の の の の の の	⁷ 価) i = 【(各回 i3得の条件に ¹	「事前学業」 「原の優の提展ので提展をできる。」 「通読や日」 「通読や日」 「通読や日」 「通読や日」 「日」 「日」 「日」 「日」 「日」 「日」 「日」 「日」 「日」 「	講義を中心に学習するが,可能であれ習) で扱う教科書本文を必ず読んでおくこの注意) 出,課題ノートの提出,漢字テスト等いたプリントは,試験の範囲に入れるの注意〕 書引き(語意調べ),『学習課題ノーの得点)×0.7 + 課題点(30点満点	と. を評価して, 課題点(30 こともあるので必ず保管 ト』等を用いて予習・復	点満点)とする しておくこと 1習をすること	3. 				
主意点 評価 総合・単合評価 がいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます は	で i = 【(各回 に得の条件に が 6 0 点以 について)	「事前学業」 「実施」「原題で発展のでは、 「課題では、 「理題では、 「通読やいま」 「の定期、試験のでは、 「のこと」 「これであること」	講義を中心に学習するが、可能であれ習) で扱う教科書本文を必ず読んでおくこの注意) 出、課題ノートの提出、漢字テスト等いたプリントは、試験の範囲に入れるの注意〕書引き(語意調べ)、『学習課題ノーの得点)×0.7 + 課題点(30点満点を単位修得の条件とする。	と. を評価して, 課題点(30 こともあるので必ず保管 ト』等を用いて予習・復	点満点)とする しておくこと 1習をすること	3. 				
主意点 平価 合評価 (総合・単合評価) はいます (総合・単合評価) はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	で価) i = 【(各回 i = 【(各回 i (各の条件に i が 6 の点以 i について) i 総合評価が	「事前学業 「実のでに 「課題ででは 「通読やは 「通読やないでは 「の定期試験に でしているでいるである。」 「これである」である。」 「これである」である。」である。「これである」である。「これである」である。「これでは、「おいでは、「ないでは、」」では、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」」は、「ないでは、「ないでは、」」は、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、これでは、「ないでは、これでは、「ないでは、これでは、「ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	講義を中心に学習するが,可能であれ習) で扱う教科書本文を必ず読んでおくこの注意) 出,課題ノートの提出,漢字テスト等いたプリントは,試験の範囲に入れるの注意) 書引き (語意調べ),『学習課題ノーの得点)×0.7 + 課題点(30点満点を単位修得の条件とする.	と. を評価して, 課題点(30 こともあるので必ず保管 ト』等を用いて予習・復	点満点)とする しておくこと 1習をすること	3. 				
主意点 評価 (総合評価 (総合・単位評価) (総合・対象のでは、	で価) i = 【(各回 i = 【(各回 i (各の条件に i が 6 の点以 i について) i 総合評価が	「事前学業」 「事が業」 「課題業」 「通読で学辞」 「の定期試験のであることである。」 「おいてあることをはいてある。」 「おいてある」である。」 「おいてある。」 「おいてある。」 「おいてある。」 「おいてある。」 「おいてある。」 「おいではないである。」 「おいではないである。」 「おいではないである。」 「おいではないである。」 「おいではないである。」 「おいではないではないである。」 「おいではないではないではないではないではないではないではないではないではないではな	講義を中心に学習するが,可能であれ習) で扱う教科書本文を必ず読んでおくこの注意) 出,課題ノートの提出,漢字テスト等いたプリントは,試験の範囲に入れるの注意) 書引き (語意調べ),『学習課題ノーの得点)×0.7 + 課題点(30点満点を単位修得の条件とする.	と. を評価して, 課題点(30 こともあるので必ず保管 ト』等を用いて予習・復	点満点)とする しておくこと 1習をすること	る. と. と. 当該回までの平均点で算出・提示す				
主意点 平価 (総合・単合再試験は の) 明明 (ののでは、100円ので	価) i = 【(各回 i = 【(各回 i	「事前学業」 「事が業」 「課題業」 「通読で学辞」 「の定期試験のであることである。」 「おいてあることをはいてある。」 「おいてある」である。」 「おいてある。」 「おいてある。」 「おいてある。」 「おいてある。」 「おいてある。」 「おいではないである。」 「おいではないである。」 「おいではないである。」 「おいではないである。」 「おいではないである。」 「おいではないではないである。」 「おいではないではないではないではないではないではないではないではないではないではな	講義を中心に学習するが、可能であれ習) で扱う教科書本文を必ず読んでおくこの注意) 出、課題ノートの提出、漢字テスト等いたプリントは、試験の範囲に入れるの注意) 書引き(語意調べ)、『学習課題ノーの得点)×0.7 + 課題点(30点満点を単位修得の条件とする。	と. を評価して,課題点(30 こともあるので必ず保管 ト』等を用いて予習・復	点満点)とする しておくこと 1習をすること	3. 				
主意点 平価 合語 (総合・単合再試験は の) では、 アクラ	価) i = 【(各回 i = 【(各回 i	事前学業 「事のででは、 「原題では、 「展題では、 「展題では、 「のでは、 、 「のでは、 「のでは、 「のでは、 「のでは、 「のでは、 「のでは、 「のでは、 「のでは、 「では、 「では、 「では、 「では、 「では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	講義を中心に学習するが、可能であれ習) で扱う教科書本文を必ず読んでおくこの注意) 出、課題ノートの提出、漢字テスト等いたプリントは、試験の範囲に入れるの注意) 書引き(語意調べ)、『学習課題ノーの得点)×0.7 + 課題点(30点満点を単位修得の条件とする。 さば対して実施する。	と. を評価して,課題点(30 こともあるので必ず保管ト』等を用いて予習・復 i)】の4回分の平均. 名	点満点)とする (しておくこと (関をすること (新国の成績は)	る. と. 当該回までの平均点で算出・提示す □ 実務経験のある教員による授				
主意点 平価 (総合・単合再試験は の) 明明 (ののでは、100円ので	価) i = 【(各回 i = 【(各回 i	「事前学業」 「事が業」 「課題業」 「通読で学辞」 「の定期試験のであることである。」 「おいてあることをはいてある。」 「おいてある」である。」 「おいてある。」 「おいてある。」 「おいてある。」 「おいてある。」 「おいてある。」 「おいではないである。」 「おいではないである。」 「おいではないである。」 「おいではないである。」 「おいではないである。」 「おいではないではないである。」 「おいではないではないではないではないではないではないではないではないではないではな	講義を中心に学習するが、可能であれ習) で扱う教科書本文を必ず読んでおくこの注意) 出、課題ノートの提出、漢字テスト等いたプリントは、試験の範囲に入れるの注意) 書引き(語意調べ)、『学習課題ノーの得点)×0.7 + 課題点(30点満点を単位修得の条件とする。	と. を評価して,課題点(30 こともあるので必ず保管ト』等を用いて予習・復 i)】の4回分の平均. 各 ② 遠隔授業対応	点満点)とする (しておくこと (となること) (となる) (ななる) (なな) (なな	3. と. 当該回までの平均点で算出・提示す				
主意点 平価 (総合・単合再試験は の) 三の アクラー	価) i = 【(各回 i = 【(各回 i	事前学業 「事のででは、 「原題では、 「展題では、 「展題では、 「のでは、 、 「のでは、 「のでは、 「のでは、 「のでは、 「のでは、 「のでは、 「のでは、 「のでは、 「では、 「では、 「では、 「では、 「では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	講義を中心に学習するが、可能であれ習) で扱う教科書本文を必ず読んでおくこの注意) 出、課題ノートの提出、漢字テスト等いたプリントは、試験の範囲に入れるの注意) 書引き(語意調べ)、『学習課題ノーの得点)×0.7 + 課題点(30点満点を単位修得の条件とする。 さば対して実施する。	と. を評価して,課題点(30 こともあるので必ず保管ト』等を用いて予習・復 i)】の4回分の平均. 各 ② 遠隔授業対応 過ごる 本授業	点満点)とする しておくこ。 理習をするこ。 配別達目標 との到達目標 質の関係を 間互の関係を	る. 				
主意点 平価 合語 (総合・単合再試験は の) では、 アクラ	価) i = 【(各回 i = 【(各回 i	事前学業 事が関係を提供を提供を提供を提供を表す。 「課題業自請・では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	講義を中心に学習するが、可能であれ習) で扱う教科書本文を必ず読んでおくこの注意) 出、課題ノートの提出、漢字テスト等いたプリントは、試験の範囲に入れるの注意) 書引き (語意調べ) 、『学習課題ノーの得点) × 0.7 + 課題点(30点満点を単位修得の条件とする。 対に対して実施する。 「ICT 利用 「関業内容 ガイダンス	と. を評価して,課題点(30 こともあるので必ず保管ト』等を用いて予習・復 (i) 】の4回分の平均. 名 ② 遠隔授業対応 過ごで表現する	点満点)とすることであることである。 直習をすることである。 でできる。(の主張の根拠	る.				
主意点 平価 合語 (総合・単合再試験は の) では、 アクラ	価) i = 【(各回 i = 【(各回 i	「事前授 を提用上辞 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	講義を中心に学習するが、可能であれ習) で扱う教科書本文を必ず読んでおくこの注意) 出、課題ノートの提出、漢字テスト等いたプリントは、試験の範囲に入れるの注意) 書引き(語意調べ)、『学習課題ノーの得点)×0.7 + 課題点(30点満点を単位修得の条件とする。 対に対して実施する。 「ICT 利用 授業内容 ガイダンス 評論「美しさの発見」1	と. を評価して,課題点(30 こともあるので必ず保管ト』等を用いて予習・復 i) 】の4回分の平均. 各 ② 遠隔授業対応 ② 遠隔授業対応 第2とた 年者の 円・月	点満点)とすることでは、 記習をすることでは、 記習をすることでは、 記習をすることでは、 記習をすることでは、 記言というでは、 にできるのは、 にできるのは、 にできるのは、 にいる。 にいるのは、 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる	る. -				
主意点 (総合・単合) (総合・単合) (総合・単合) (地合) (単合) (単合) (世紀	価) i = 【(各回 i = 【(各回 i	「事前授 を提用上辞」 「課題業自詩や である 以下である 以下である 以下である 以下である 以下である 以下である 以下の できます できます できます できます かい できます はい できます かい できます いっぱい はい できます はい できます はい しょう はい	講義を中心に学習するが、可能であれ習) で扱う教科書本文を必ず読んでおくこの注意) 出、課題ノートの提出、漢字テスト等いたプリントは、試験の範囲に入れるの注意) 書引き (語意調べ) 、『学習課題ノーの得点) × 0.7 + 課題点 (30点満点を単位修得の条件とする. プログランス に対して実施する。 「関係である。 「対グンス によって、 「対して対象を表し、 「対象に対して対象を表し、 「対象に対して対象を表し、 「対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対	と. を評価して,課題点(30 こともあるので必ず保管ト』等を用いて予習・復 (i) 】の4回分の平均. 名 (i) 」の4回分の平均. 名 (i) 」の4回分の平均. 名 (i) 」を開発を表す。 (i) 」を関する。 (i) 」を関する。 (i) 」を関する。 (i) 」を関する。 (i) 」を関する。 (i) 」を関する。 (i) 」を記述される。 (ii) 」を記述される。 (ii) 」を記述される。 (iii) 』を記述される。 (iii) 』を記述される。	点満点)とすることでは、 はいておっては、 はいておっては、 はいですることでは、 をするとでは、 をするでは、 をする	る. -				
主意点 (総合・単合) (総合・単合) (総合・単合) (地合) (単合) (単合) (世紀	4価) 「三【(各回 ほの条件に が60点以 総合評価が 属性・履信 ティブラーニ	「 事が 事が に 事が を を に 課 が に 課 が に う る に で り る り る り る り る り る り る り る り る り る り	講義を中心に学習するが、可能であれ習) で扱う教科書本文を必ず読んでおくこの注意) 出、課題ノートの提出、漢字テスト等いたプリントは、試験の範囲に入れるの注意) 書引き (語意調べ) 、『学習課題ノーの得点) × 0.7 + 課題点 (30点満点を単位修得の条件とする. プログランス にて 利用 「選挙内容 ガイダンス に 美しさの発見 1 に 美しさの発見 2 に に しきの発見 3	と. を評価して,課題点(30 こともあるので必ず保管ト』等を用いて予習・復 i) 】の4回分の平均. 各 ② 遠隔授業対応 ② 遠隔授業対応 ② 本段落札 ことれ	点満点()とすることでは、	る. - : : : : : : : : : : : : : : : : : : :				
主意点 (総合・単合) (総合・単合) (総合・単合) (地合) (単合) (単合) (世紀	4価) 「三【(各回 ほの条件に が60点以 総合評価が 属性・履信 ティブラーニ	「 事が業」 「 事が異して 「 までで で で で で で で で で で で で で で で で で で	講義を中心に学習するが、可能であれ習) で扱う教科書本文を必ず読んでおくこの注意) 出、課題ノートの提出、漢字テスト等いたプリントは、試験の範囲に入れるの注意) 書引き (語意調べ) 、『学習課題ノーの得点) × 0.7 + 課題点 (30点満点を単位修得の条件とする. プログランス では、	と. を評価して,課題点(30 こともあるので必ず保管ト』等を用いて予習・復 (i) 】の4回分の平均. 名 (i) 」の4回分の平均. 名 (i) 」の4回分の平均. 名 (i) 」の4回分の平均. 名 (i) 」の4回分の平均. 名 (ii) 」の4回分の平均. 名 (iii) 」を表 (iii) 』を表	点点() とくこう はい	る. - : : : : : : : : : : : : : : : : : : :				
主意点 (総合・単合) (総合・単合) (総合・単合) (地合) (単合) (単合) (世紀	4価) 「三【(各回 ほの条件に が60点以 総合評価が 属性・履信 ティブラーニ	「 事が業」 「 事が要」 「 まか」 「 まか」 「 まか」 「 また」 し また」 し また」 も また」 も また」 も また」 も また」 も また」 も また」 も また」 も また」 も また」 も また。 も また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。	講義を中心に学習するが、可能であれ習) で扱う教科書本文を必ず読んでおくこの注意) 出、課題ノートの提出、漢字テスト等いたプリントは、試験の範囲に入れるの注意) 書引き (語意調べ) 、『学習課題ノーの得点) × 0.7 + 課題点 (30点満点を単位修得の条件とする. プログランス に対して実施する. 「ICT 利用 「業別の発見」 1 「業別でである。 「対して対して実施する。) 「対イダンス に対して変更しての発見」 1 「対しての発見」 2 「対いての発見」 3 「対いての発見」 3 「対いての発見」 4 「は、して、対しての発見」 4	と. を評価して、課題点(30 こともあるので必ず保管ト』等を用いて予習・復 (i) 】の4回分の平均. 名 (i) 」の4回分の平均. 名 (i) 」の4回分の平均. 名 (i) 」の4回分の平均. 名 (ii) 」の4回分の平均. 名 (iii) 」の4回分の平均. 名 (iii) 」の4回分の平均. 名 (iii) 」の4回分の平均. 名 (iii) 」の4回分の平均. 名 (iiii) 」の4回分の平均. 名 (iiiii) 」の4回分の平均. 名 (iiiii) 」の4回分の平均. 名 (iiiii) 」の4回分の平均. 名 (iiiii) 」の4回分の平均. 名 (iiiiii) 」の4回分の平均. 名 (iiiiiii) 」の4回分の平均. 名 (iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	点満点()とくこう 点がしていることでは、 記習をするこう はいかでする。 こののののものできました。 にはいいでする。 にはいいでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	る. 上. 当該回までの平均点で算出・提示す 当該回までの平均点で算出・提示す 容を理解する. 把握しつつ,内容を丁寧に読みとる MCC Ⅲ - A) を的確に理解できる. (MCC 理展開とそれに対する筆者の工夫を きる. (MCC Ⅲ - A) ・感じ方・考え方を自身に引きつに できる. (MCC Ⅲ - A)				
注意点 評価 (総合・単合三級 では一部級は では一部級は では一般では一般は では一般では一般は では一般では一般では では一般では一般では では一般では一般では では一般では一般では では一般では一般では では一般では一般では では一般では では一般では では一般では では一般では では一般では では一般では では一般では では一般では では一般では では一般では では一般では では一般では では では では では では では では では では	4価) 「三【(各回 ほの条件に が60点以 総合評価が 属性・履信 ティブラーニ	「 原 原 原 原 原 原 原 原 原 原 原 原 原	講義を中心に学習するが、可能であれ習) で扱う教科書本文を必ず読んでおくこの注意) 出、課題ノートの提出、漢字テスト等いたプリントは、試験の範囲に入れるの注意) 書引き(語意調べ)、『学習課題ノーの得点)×0.7 + 課題点(30点満点を単位修得の条件とする。 対して実施する。 「ICT 利用 「業内容がある。」 「関係などの発見」1 「評論「美しさの発見」2 「評論「美しさの発見」3 「評論「美しさの発見」3 「評論「美しさの発見」4 「古文・随筆「枕草子」1 「古文・随筆「枕草子」2	と. を評価して,課題点(30 こともあるので必ず保管ト』等を用いて予習・復 (i) 】の4回分の平均. 各 (i) 」の4回分の平均. 各 (i) 」の4回分の平均. 各 (i) 」の4回分の平均. 名 (i) 」の4回分の平均. 名 (ii) 」の4回分の平均. 名 (iii) 」の4回分の平均. 名 (iiii) 」の4回分の平均. 名 (iiiii) 」の4回分の平均. 名 (iiiiii) 」の4回分の平均. 名 (iiiiii) 」の4回分の平均. 名 (iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	点点() とくこう (i) は (i) とくこう (i) とり (る. と. 当該回までの平均点で算出・提示す 当該回までの平均点で算出・提示す でを理解する. 把握しつつ,内容を丁寧に読みとる MCC Ⅲ – A) を的確に理解できる. (MCC 理展開とそれに対する筆者の工夫を きる. (MCC Ⅲ – A) ・感じ方・考え方を自身に引きつけ できる. (MCC Ⅲ – A) することができる. (MCC Ⅲ – A) を理解することができる. (MCC Ⅲ – A)				

		10ì	———— 周	盐 [2	 なかついで	1.2	語句に注目しつつ作者の工夫		こができる	
	11週			詩「空をかついで」 2			. (MCC Ⅲ – A) 作品に詠み込まれたものの見方を理解し,味わうこと			
							ができる.(MCC Ⅲ – A)			
	12ì	周	漢文	「論語」 1	書き下し文を正しく書くこ。 ことができる.(MCC II -		A)			
	13週 漢文				「論語」2		口語訳を通じて,中国の古人のものの見方・考え方を 知ることができる. (MCC Ⅲ – A)			
		14ì			「論語」3		同上(MCC Ⅲ-A)			
		15ì			明末試験		· ·	, (3) , ((4)	
		16ì	<u></u>	前期期	明末試験の解答	答と解説	誤答箇所の確認・復習	マフレがブコ	- Z (MCC	
		1週		小説「夢十夜」1			小説の語り手について理解することができる.(MCC Ⅲ-A)			
		2週		小説	「夢十夜」 2		物語内容(場面展開)を丁寧に読み取ることができる. (MCC II − A)			
		3週		小説	「夢十夜」3		語りを通して, 登場人物の心 できる. (MCC II – A)	情や関係を扱	えることが	
	3rdQ	4週		小説	「夢十夜」 4		小説の語りを通して, 「語るや, 「表現」への意識を持つ Ⅲ – A)	」という行為 ことができる	ら、(MCC	
		5週		古文・物語「伊勢物		動語」1 重要単語や文法事項,内容 MCC Ⅲ − A)		を捉えることができる. (
		6週		古文	・物語「伊勢物	物語」2	古文の特徴に注意しながら読 MCC III – A)	解することか	べできる. (
		7週		古文			同上(MCC Ⅲ – A)			
後期		8週		古文	・物語「伊勢特	物語」 4	口語訳を通じて, 我が国の古人のものの見方・考え方 を知ることができる. (MCC II – A)			
		9週 後期		後期口			目的・到達目標(1), (2), (3), (4)			
		10ì	選 後期中 三		後期中間試験の解答と解説 平論「真の自立とは」1		誤答箇所の確認・復習 段落相互の関係を把握しつつ,内容を丁寧に読みとる ことができる. (MCC Ⅲ – A)			
		11週		評論「真の自立とは」2			筆者の主張の根拠を的確に理解できる. (MCC III - A)			
	4thQ	12ì	問	評論「真の自立と						
		13ì			文「史話」1 文「史話」2		書き下し文を正しく書くことによって, 漢文に慣れる ことができる. (MCC Ⅲ – A)			
		14ì					口語訳を通じて,中国の古人のものの見方・考え方を知ることができる. (MCCⅢ-A)			
				学年表	 	目的・到達目標(1), (2)			(4)	
				学年末試験の解答の		と解説 誤答箇所の確認・復習				
モデルニ	コアカリキ	-그 ⁻	ラムσ	学習	内容と到達	目標				
分類			分野		学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週	
		・社会 国語				論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。		3	前1,前2,前 3,前4,後 10,後11,後 12	
						論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の 妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。		3	前1,前2,前 3,前4,後 10,後11,後 12	
					国語	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。		3	前9,前 10,前11,後 1,後2,後 3,後4	
基礎的能力	J 人文・ぞ 科学					常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。		3	前1,前2,前3前46高,前5,前46高,前前前前前前前12,46卷卷。 11,前前前前14,6卷卷卷。 11,前前14,6卷卷。 11,前前14,6卷卷。 11,6卷6。 11,6卷6。 11,6卷6。 11,6卷6。 11,6卷6。 11,6卷6。 11,666 11,666 11,666 11,666 11,666 11,666 11,6	

					類義語・対義語を	思考や表現に活用	できる。		3	前1,前2,前3前4,前5,前6,前 10,前11,前 11,前 11,前 11,前 11,前 14,後3,後4,後後3,後後4,後後7,後後8,後11,後後2,後後後後後後後後後11,後後12,後
					社会生活で使われきる。	ている故事成語・	慣用句の意味や内容	字を説明で	3	11,後12, 13,後14 前1,前2,前 3,前4,前 12,前13,前 14,後10,後 11,後12
					専門の分野に関す	る用語を思考や表	現に活用できる。		3	前1,前2,前 3,前4,後 10,後11,後 12
					実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。					
						に応じて、印刷物・	、インターネットカ	いら適切な	3	
						<u>。</u> 析し、目的に応じ [・]	 て整理できる。		3	
					報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わる ように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。			3		
			作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口 頭発表することができる。				3			
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。					3	前1,前2,前 3,前4,後 10,後11,後 12
					相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思い や考えをまとめることができる。					
						の視点の理解に努	め、自分の思いやき	きえを整理	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前 7,前9,前 10,前11,前 11, 前 12,後1,後 2,後3,後 4,後10,後 11,後14,後14,後11,後14
					日本語と特定の外	国語の文章を読み	、その内容を把握て	ごきる。	3	
公野港縣的	汎用的技能				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で 正しい文章を記述できる。				3	
分野横断的 能力			汎用的技能 	能 汎用的技能	他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。				3	
					日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。				3	
評価割合	-			•						•
		試験		 課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	4	
総合評価割合		70	30		0	0	0	0		.00
基礎的能力		70		30	0	0	0	0	1	.00
専門的能力		0	0		0	0	0	0	0	1
分野横断的能力 0			0	0	0	0	0	0		